

私たちは、グリーンバンクの活動をより多くの方々に知っていただき、興味をもつていただくため、ハーモニカ奏者であり音楽家の倉井夏樹氏と共に一つの曲をつくりあげました。ハーモニカは和音の楽器。ひとつの和音が音楽にまったく新しい一面や奥行きを生み出すように、「テワタスミドリ」という新たな一步を踏みだし、より多くの人とつながり、静岡県緑を豊かにします。

静岡県グリーンバンク

私たちは、「街に花と緑を増やす」と、「豊かな森林を育てる」ことを目標としています。この目標達成のためには、県民のみならず、御理解と御支援をいただいて初めて動き出します。私たちが目指す想いを、よりたくさんの方々に届ける方法として緑の募金イメージソングを作りました。



高橋 咲月 (作詞)

人それぞれ、思い出す「森」の景色があると思います。歌詞と思い出がリンクできる曲にしたいと思いました。同時に、これまでに出会ってきた森に関わる人や、森で暮らす人の姿を思い浮かべ、感じていることを想像しました。彼らの数十年先を見つめる瞳が強くイメージされています。



倉井 夏樹 (作曲、演奏、歌唱)

詞を見た時、すぐにメロディーラインが浮かんできました。以前家族で静岡の森や製材所を案内していただいたこともあり曲作りに生かされています。一緒に森を歩いて景色や自然を楽しんでいるイメージを娘や音楽仲間と共有しながら曲作りをしました。

わたしたちはテワタスミドリを応援しています!

山崎 宏 (ホールアース自然学校)

人間社会は直線的、規則的なもので満ちています。一方、自然の中に足を踏み入れると音も光も形もすべてが不規則で、その中で人はリラックスすると言われる。私たちはたくさんの方に森を案内し、ほぐれていく姿を見てきました。「テワタスミドリ」は自然と出会った人が感じる森の魅力が表現されていて、多くの方が共感する曲だと思います。

榛村 航一 (掛川市森林組合)

全職員とこの曲を聞き、歌詞に描かれているのは自分たちでもあると背筋をのばしました。この歌の歌詞「To hand this green baton over to you.」のように、気持ちのいい森林を未来の子どもたちに、そしてその子たちが次の世代の子どもたちへというバトンをつないでいけるよう、まずは私たちができることを日々積み重ねていきたいと思っています。

テワタスミドリ

- 1 窓の外にある 碧い稜線
森の中 君が目を細めてる
季節の光 芽吹いてく 葉そよいでく
夕空の影 まっすぐに 伸びていく
To hand this green baton over to you.
森を守る
君に会いに行く
- 2 今日も出かけてく 碧い稜線
森の中 君が耳すましてる
通り行く風 生きものの 息吹運んで
進む足音 まっすぐに 伸びていく
To hand this green baton over to you.
森を生かす
君に会いに行く
- 3 いつもそこにある 碧い稜線
明日へと つながっていく
季節巡って 言の葉踊って 森になる
君との日々が まっすぐに 伸びていく
To hand this green baton over to you.
森をつなぐ
君に会いに行く



作曲・演奏・歌唱

くらい なつき

倉井 夏樹 音楽家・ハーモニカ奏者



1988年5月30日生まれ。新潟県出身。5歳の頃より父の影響でハーモニカを吹き始め19歳でプロのハーモニカ奏者としての活動をスタート。年間200本以上のライブワークの他にも数々のレコーディングに参加。海外にも活動の場を広げ、各国のアーティストとコラボレーション、セッション、レコーディングを数多く行う。また独自の演奏スタイルを見つめ、ハーモニカとは思えない世界観の音作りで様々なアーティストとの化学変化を起こす。まさに次世代の新鋭ハーモニカプレイヤー。